

平成29(2017)年度 交流協会奨学金留学生(国内採用) 申請書

記入上の注意

1. 日本語で記入すること。
2. 英文はローマ字の活字体を用いること。
3. 数字は算用数字を用いること。
4. 固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。
5. 年号はすべて西暦とすること。
6. 読みやすいフォント及びフォントサイズで作成すること。
7. 申請書の分量は6ページ以内にすること(※添付資料等は除く)。

写真貼付

(6か月以内に撮影したもの。縦4.5cm×横3.5cm、上半身・正面・脱帽、裏面に氏名を記入すること。)

1. 姓 名 (漢字) _____ (男 ・ 女)

(姓) (名)

(英文) _____

(Family name) (First name) ※必ずパスポートと同一に記載すること。

2. 生 年 月 日 19 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 (満 歳 月)

(年齢は 2017 年 4 月 1 日現在で記入すること。)

3. 渡 日 年 月 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

4. 住 所 等 現住所：〒 _____ 都・道・府・県

電話(固定)： _____

電話(携帯)： _____

E-mail : _____ @ _____

※大学院修了後も使い続けるメールアドレスを記載してください

5. 研究室等の連絡先 電話(研究室等) _____ 内線()

6. 2016 年 10 月現在の在籍大学

_____ 大学 _____ 学部・研究科

_____ 専攻

_____ 学部・研究生・修士・専門職・博士 _____ 年次

指導教員名 _____

_____ 年 月 入学 _____ 年 月 卒業・修了見込

7. 2017 年 4 月以降の在籍(予定)大学院(6と所属が同じ場合は年次のみ記入)

_____ 大学 _____ 学部・研究科

_____ 専攻

_____ 学部・研究生・修士・専門職・博士 _____ 年次

_____ 年 月 入学 _____ 年 月 修了見込

進学予定者は合格発表予定日を記入(合格通知書提出者は不要) _____ 年 _____ 月 _____ 日

※7で記載した大学とは別の大学に進学する場合、奨学金の受給資格を取り消すことがあるので注意すること

8. 過去に交流協会奨学金留学生であった場合、または現在交流協会奨学金を受給している場合は、その時の在学大学名、学部・研究科名、研究テーマ、奨学金受給期間、奨学金受給期間中の成果（論文、著書、学会発表など）を記入してください。

大学名等： _____ 大学 _____ 学部・研究科 _____ 専攻 _____

研究テーマ： _____

奨学金支給期間： _____ 年 _____ 月 _____ ～ _____ 年 _____ 月 _____

奨学金支給期間中の成果（論文発表実績など）※行が不足する場合は別紙（様式任意）でも可

9. 現在、他の奨学金に応募している場合はその名称、期間、金額等を記入してください。

奨学金名： _____

奨学金支給期間： _____ 年 _____ 月 _____ ～ _____ 年 _____ 月 _____

奨学金支給内容： _____

10. 2017年4月からの研究計画（※提出する研究計画書の表題と同じ題目を記入すること）

研究計画： _____

研究内容のキーワード： _____

※キーワードは5つ以内で適宜記入すること

下記の中から、自分の研究テーマ・内容に近い研究分野名の左隣りの数字に1つだけ○をつけること

1:人文科学(文学・史学・哲学・語学等) 2:社会科学(法学・政治学・商学・経済学・経営学・社会学等)

3:理学(数学・物理学・化学等) 4:工学 5:農学 6:医学・歯学・薬学 7:教育学 8:芸術 9:その他

※研究内容のキーワード及び上記で○をつけた箇所を審査の参考とします。

※キーワード及び○が未記入の場合や、○を複数つけた場合は交流協会でも適宜判断します。

11. あなたが日本の大学に進学及び日本の大学で研究しようと思った理由は何ですか

1 2. あなたは日本で課外活動やボランティアなどの経験はありますか

1 3. あなたは日本に対する理解を深めるため今現在何か実施していることはありますか
また、日本に対する理解を深めるため今後何か実施してみたいことはありますか

1 4. あなたは日本の大学院で行う研究・生活を通じ、日本と台湾の架け橋として社会の人々にどのように役立てると思いますか

1 5. あなたは日本の大学院における研究や学ぶことを大学院修了後、あなたの将来にどのように活かそうと考えていますか

1 6. あなたは大学院修了後の進路（進学先・就職先など）をどのように考えていますか

17. あなたが奨学金を必要とする理由は何ですか

18. あなたが交流協会の奨学金を希望する理由は何ですか

19. あなたがこれまで専攻した専門分野をすべて記入してください

20. あなたの研究業績（論文（卒論含む）、著書、学会・外部研究会等での発表）等があれば記入してください。

※8で奨学金受給期間中の成果を記載した場合は再度記入すること

※論文がある場合は摘要を別紙に作成し添付すること

※学術雑誌に発表された論文及び著書がある場合は『全著者（申請者本人の氏名には下線を引くこと）、題目、掲載雑誌名、出版年月、出版場所等』を記入すること

（別紙にリストを記載するか、または論文別刷などの添付でも可）

※学会・外部研究会等での発表がある場合は『学会大会名・年月、発表題目、発表者、共同研究者等』を記入すること（別紙にリストを記載するでも可）

21. 学 歴

	学校名及びその所在地	入学及び 卒業年月	修学 年数	学位・資格 専攻科目
中等教育 (高中)	学校名 所在地	入学 年 月 卒業 年 月	年	
高等教育 (大学)	学校名 所在地	入学 年 月 卒業 年 月	年	
	学校名 所在地	入学 年 月 卒業 年 月	年	
大学院	学校名 所在地	入学 年 月 卒業 年 月	年	
	学校名 所在地	入学 年 月 卒業 年 月	年	
以上を通算した全学校教育修学年数			年	

※上欄に書ききれない場合には、別紙（様式任意）を作成し添付すること。

22. 職 歴

勤務先及びその所在地	勤務期間	役職名	職務内容
名 称 所在地	自 年 月 至 年 月		
名 称 所在地	自 年 月 至 年 月		
名 称 所在地	自 年 月 至 年 月		

23. 資格（日本語能力試験、TOEFL、TOEIC、国家試験（医師免許、弁護士資格）等）

※ 証明書を必ず添付すること

年	月
年	月
年	月
年	月
年	月

24. 家族状況（現在、渡日している家族のみ記入すること。）

氏 名	続柄	年齢	職業（勤務先）	住 所

25. 収入状況

1か月の平均収入額((1)～(4)の合計額) _____円

(1) 仕送り額 _____月額 _____円

(2) アルバイト _____月額 _____円

(3) 奨学金 _____月額 _____円 奨学金名称 _____

受給期間 _____年 _____月 ～ _____年 _____月

(注) 現在、交流協会奨学金留学生である場合も必ず記入すること。

(4) その他の収入(内容: _____) _____円

(注) 配偶者及び家族と同居している場合は、その総収入額を記入すること。

26. 支出状況

1か月の平均支出額((1)～(4)の合計額) _____円

(1) 住居費 _____月額 _____円 ※水道光熱費を除いた家賃

住居の種別(該当するものに○印を付すこと)

① 学設置の留学生会館等 ② その他の留学生会館等 ③ 民間アパート・マンション等

④ 下宿 ⑤ 借家 ⑥ その他(_____)

(2) 生活費 _____月額 _____円 ※食費、水道光熱費、通信費など

(3) 教育費 _____月額 _____円 ※授業料、書籍代、住居通学費など

(4) その他支出 _____月額 _____円(内容: _____)

(注) 配偶者及び家族と同居している場合は、その総支出額を記入すること。

27. 緊急時の台湾での連絡先

(1) 氏 名 _____

(2) 住 所 等 現住所 _____

電話番号: +886 - _____

E-mail: _____

(3) 本人との関係 _____

申 請 年 月 日 _____年 _____月 _____日

申 請 者 氏 名 _____

申 請 者 署 名 _____